



## 米価下落に対応した稲作農家支援事業を

町長 ⇒ 稲作経営緊急支援事業を実施

令和3年度稲作経営緊急支援事業

作付け面積	助成金額 (10アール当たり)
20アール以上 2ヘクタール未満	4,000円
2ヘクタール以上	6,000円

問

大幅な米価下落により「米作りをやめるしかない」との声も聞かれます。

昨年度はコロナ禍の米消費低下を鑑み稲作農家緊急支援事業が実施されましたが、今年度支援策実施の考えは、

町長

稲作農家が今後とも経営を継続できるように、稲作経営緊急支援事業を実施します。

『危険立木除却事業』（仮称）創設を

町長 ↓ 所有者や地区と連携していく

問

令和2年12月の一般質問で、町長は「立木は個人の財産であり、第三者に対する被害防除の措置は自己責任で講ずるべき」との答弁でした。

しかし、一人暮らしの高齢者や年金生活の方が自費で立木の処分料を支払うことは困難です。

通学路の安全確保や日照問題解消のため「危険立木除却事業」（仮称）を創設しては、

町長

倒木など危険を及ぼす恐れのある場合、所有者に伐採の協力を求めるとともに、引き続き道路パトロールや

美しい星空を守る街灯設置を

町長 ↓ 現在のところ考えていない

問

「星の郷ホテル」が昨年開業しましたが、星空を同ホテルのメインコンセプトとしたことは、星空を重要な観光資源として認識していることと表れており、星空を守ることは、私たち町民の使命と考えます。星空方向を照らす街灯は、見える星の数を減らします。

今後設置される街灯を、星空を守るタイプにするような運動や情報発信をする考えは、

町長

町民の安全安心を第一と考えたとき、現状で設置されている照明は夜間通行や防犯の観点から最も適していると考えます。

したがって町がそのような働きかけをする考えはありません。



天の川（左）とレナード彗星（右） 撮影地：針生